

平成 1 9 年 第 4 回

羽咋郡市広域圏事務組合議会定例会会議録

平成 1 9 年 8 月 2 3 日 開会

平成 1 9 年 8 月 2 3 日 閉会

羽咋郡市広域圏事務組合議会

目 次

第 1 日 平成 1 9 年 8 月 2 3 日 木曜日

開会・開議（午後 2 時 3 分）	1
諸般の報告	1
会期の決定	1
会議録署名議員の指名	1
組合長提出議案の上程、説明	1
議案説明 橋中組合長	2
質疑・質問	6
委員会付託	6
決算特別委員会委員の設置と同委員の選任	6
休 憩（午後 2 時 2 7 分）	7
再 開（午後 4 時 4 9 分）	8
決算特別委員会組織結果報告	8
委員長報告	8
総務厚生常任委員会委員長	8
質 疑	9
討 論	9
採 決	9
総務厚生常任委員会及び議会運営委員会所管事務の閉会中継続調査	9
閉議・閉会（午後 4 時 5 4 分）	1 0
（参 照）	
会期日程表	1 1
議事日程表	1 2
諸般の報告	1 2
説明のため出席した者の職指名	1 3
会議に付した事件	1 3
議案付託表	1 4
委員会正副委員長当選結果報告	1 4
閉会中の継続調査申出書	1 5
委員会審査結果	1 6
議決一覧表	1 6
議会選挙結果一覧表	1 7
職務のために出席した事務職員	1 7

署名議員

平成19年第4回羽咋郡市広域圏事務組合議会定例会会議録

平成19年8月23日(木曜日) 午後2時3分 開会

出席議員(12名)

1番 守田幸則	5番 北本俊一	9番 北信幸
2番 中村重幸	6番 中村孝清	10番 浅野俊二
3番 櫻井俊一	7番 山本泰夫	11番 川口正雄
4番 久木拓栄	8番 山本辰榮	12番 稲村幸雄

開会・開議

議長(稲村幸雄君) ただいまから平成19年第4回羽咋郡市広域圏事務組合議会定例会を開会いたします。

本日の会議は全員出席であります。よってこれより本日の会議を開きます。

本日の会議の議事日程は、お手元に配付の議事日程表のとおりであります。

諸般の報告

議長(稲村幸雄君) また、諸般の報告につきましては、お手元に文書で配付いたしておりますので、御了承をお願いいたします。

会期の決定

議長(稲村幸雄君) これより日程に入ります。

日程第1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は本日1日といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(稲村幸雄君) 御異議なしと認めます。よって、会期は本日1日と決定いたしました。

会議録署名議員の指名

議長(稲村幸雄君) 日程第2、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員に浅野俊二君、川口正雄君、守田幸則君、以上3名の方々を指名いたします。

組合長提出議案の上程、説明

議長(稲村幸雄君) 日程第3、これより組合長から提出のありました議案第17号から第18号及び報告第4号並びに認定第1号から認定第3号までを一括して議題といたします。

提案理由の説明を求めます。橋中組合長。

〔組合長橋中義憲君 登壇〕

組合長（橋中義憲君） 本日ここに、平成19年第4回組合議会定例会が開会されるに当たり、組合行政の当面する課題の取り組みと提出した議案について、御説明申し上げ、議員各位を初め、圏域住民の皆様の御理解と、御協力をお願い申し上げます。

始めに、当面する課題の進捗状況、経過について御説明いたします。

まず、本年3月25日に発生した能登半島地震による災害廃棄物の処理・処分についてであります。

地震による圏域内での災害廃棄物の処理・処分は、国の補助を受けるべく、被災家庭から出される片付けごみと、倒壊家屋などの家屋解体ごみ毎にその発生量を推計し、再生利用などを考慮した処理計画を策定いたしました。

その処理計画での廃棄物発生量は、石川県災害対策本部が公表した算定方法に基づき算出した結果、羽咋郡市内での総量は6万6千トン余りと推計しました。

この推計量をもって、去る6月21日に環境省の現地査定を受け、その後、国への補助申請と、組合で処理すべき経費の予算補正を専決処分で行ったところであります。

国の補助制度は、職員の人件費や消耗品などを除いた処理・処分や運搬経費が補助対象となるもので、50パーセントの補助金と、40パーセントが特別地方交付税として措置され、残り10パーセントが市、町負担となります。

去る7月6日付けで、環境省から8,562万7千円を限度額とする補助金の内示がありました。

続いて、組合での災害廃棄物の処理状況ですが、片付けごみは、リサイクルセンターのごみ燃料化施設と、ごみ資源化施設で随時処理を行っておりますが、近日の搬入状況を見ますとほぼ終了したと考えております。家屋解体ごみは、埋立処分場に仮置きし、その処分先、搬送方法などが決まりしだい埋立処分場から搬出する計画であります。近日はピーク時の3分の1程度の1日当たり約30トンが搬入されている状況であります。

また、リサイクルセンターの被災箇所の復旧工事については、このほど実施設計がまとまり8月中に発注し、早期に完了したいと考えております。

次に消防業務について報告をいたします。

先の7月16日、新潟県中越沖地震により発生した東京電力柏崎刈羽原子力発電所での火災

は、消火までに長時間要した事故でありました。

また、近年の原子力発電所における事故などにおいて、通報の遅れや情報の錯誤から消防機関と原子力事業者との連携が円滑に行われていないことから、国において、今回の火災を踏まえ、各電力会社に対し、原子力発電所の自衛消防体制の強化と通報体制の迅速化を柱とした改善計画を策定する指示がなされております。

これに基づき、過日、北陸電力から当消防本部に対し、志賀原子力発電所に化学消防車を平成19年9月末までに配備する改善計画を策定したことの報告と、その自衛消防隊の指導方について要請を受けております。

当組合としましては、消防本部に対し、自衛消防隊が十分に消防活動出来るよう指導を行うとともに、原子力発電所内での有事における消防活動要綱などの見直しを行うよう指示いたしました。

次に、組合の契約事務についてであります。

当組合は、本年4月より3千万円以上の建設工事及び物品購入に係る契約について、制限付き一般競争入札を初めて導入し、公立羽咋病院耐震関連及び人工透析棟増築工事、消防本部合同庁舎耐震補強関連工事に係る工事請負の4件と人工透析機器、高規格救急自動車などの物品購入3件の計7件の入札を行いました。

入札結果の平均落札率は91.74パーセントであり、前年の3千万円以上の平均落札率97.99パーセントと比べ6.25ポイント下回り、一定の成果が現れたと考えております。

次に、能登空港についてであります。

能登空港の搭乗率は、能登半島地震による影響などにより利用者が低迷し、目標達成が危ぶまれたため「元気宣言、能登」などの対策を講じ、回復に努力した結果4年目の搭乗者数は、約15万7千人となり、年間搭乗率の目標値である62パーセントを上回る65.1パーセントになりました。

なお、搭乗率保証は、5年目も継続することが決定されていますので、引き続き能登空港の利用に、なお一層の御協力をお願いいたします。

次に、千里浜ドライブウェイへの入り込み客数についてであります。

例年観測しております、7月17日から8月16日までの入り込み数は4万3千台、17万2千人余りであり、昨年と比較しますと1万台、4万2千人余りの減となっており、率にして20パーセントの減少となりました。

減少の主な要因としては、7月の天候不順と、能登半島地震での風評被害などによるものと考えられます。

以上申し上げまして、提出案件の説明に入ります。

本定例会に提出する案件は、予算案1件、財産取得案1件、報告1件、決算認定3件の計6件であります。

まず、議案第17号、平成19年度一般会計補正予算第2号についてご説明いたします。

今回の補正は、歳出では、消防本部合同庁舎耐震補強関連工事の工事監理業務に係る経費及び消防施設整備事業に係る不用額の減額、リサイクルセンターの災害復旧工事の工事監理業務の追加を行い、歳入では、救急資機材に係る補助金及び市町分担金を減額し、歳入歳出それぞれ260万円の減額補正であります。これにより、一般会計の総額を32億4,224万4千円に定めようとするものであります。

次に、議案第18号、財産の取得については、羽咋消防署の高規格救急自動車を更新するものであり、去る8月10日に制限付き一般競争入札を行い、販売会社2者による入札の結果、石川トヨタ自動車株式会社が2,971万4,584円で落札いたしました。本契約は、予定価格が2千万円以上でありますので、地方自治法及び組合条例の規定に基づき、議会の議決をお願いするものであります。

報告第4号、平成19年度一般会計補正予算第1号の専決処分については、前段にご説明いたしました能登半島地震に伴う災害廃棄物処理費と施設復旧費を新たに設け、災害等廃棄物処理費で1億2,707万9千円、廃棄物処理施設及び常備消防施設災害復旧費で1,186万5千円を措置し、合計1億3,894万4千円の追加補正を去る6月25日付けで、専決処分したものであります。

次に、平成18年度の決算認定案件3件のうち、まず、認定第1号、一般会計歳入歳出決算について御説明いたします。

国内の経済情勢にあっては金融施策により厳しさは残るものの、穏やかな改善傾向にありますが、三位一体改革に伴う地方交付税の減額により地方財政が混沌としている状況でございます。

組合構成市町における財政指標は何れも高水準であり、厳しい状況にあるとの認識をいたしております。当組合においても、事務事業の見直しなど経費の縮減に努め予算を執行してまいりました。

議会・総務費では、定例会等の開催、圏域整備実施計画を策定いたしました。

衛生費では、ごみ燃料化施設、ごみ資源化施設の運営やごみ固形燃料専焼炉費の負担、火葬業務並びにし尿処理施設の運営のほか、旧環境センター撤去工事に合わせ、新たに廃棄物原材料化施設を稼働し、廃木材の再利用を進めるとともに、埋立処分場の延命化にも資することができました。

商工費では、なぎさドライブウェイの管理のほか、河北なぎさ千里浜海岸保全期成同盟会の活動にも参画いたしました。

消防費におきましては宝達志水消防署の改修と、新たに化学消防ポンプ車の配備を進め、宝達志水地区の消防力強化を行うとともに、志賀消防署の高規格救急自動車を更新し、救急体制の充実を行いました。

また、消防庁舎の耐震化を図るため、本部合同庁舎耐震補強関連工事の実施設計を行いました。

この結果、一般会計の決算額は、歳入総額 3 2 億 8 , 1 4 8 万 9 千円、歳出総額では、3 2 億 6 , 2 4 8 万 9 千円で、廃棄物原材料化施設整備に係る明許繰越分 1 , 1 5 5 万円を含め、収支差引額 1 , 9 0 0 万円を平成 1 9 年度に繰り越しいたしました。

続いて、認定第 2 号、ふるさと振興事業特別会計歳入歳出決算では、中能登地方拠点都市地域整備推進協議会のソフト事業や、能登空港活性化基金負担金への拠出により地域間交流の促進に努め、能登空港への支援に取り組みました。

これにより決算額は、歳入総額 9 7 9 万 4 千円となり、歳出総額は 9 5 3 万円で、収支差引額 2 6 万 4 千円を平成 1 9 年度に繰り越しいたしました。

認定第 3 号の公立羽咋病院事業会計決算では、入院・外来患者数が何れも前年度実績を下回り、さらに、診療報酬の改定と医療保険・介護保険制度改定という、かつて経験のない大変厳しい経営環境にあって、職員一丸となり経費節減に努めたことにより、収益的収入 2 8 億 5 , 5 2 6 万 5 千円に対する収益的支出は 2 8 億 5 , 4 1 8 万 5 千円で、収支差引により 1 0 8 万円の黒字決算となりました。

また、資本的支出では、医療機器購入及び企業債償還金などで 2 億 6 , 2 0 3 万 3 千円、資本的収入では、市町負担金及び国県補助金などで 1 億 8 , 7 5 5 万 4 千円となり、収入不足額 7 , 4 4 7 万 9 千円につきましては、内部留保資金などで補てんし、決算の調整をいたしました。

以上が各会計の決算状況であります。

一般会計及びふるさと振興事業特別会計は、地方自治法の規定による主要施策の成果等説明書などで、公立羽咋病院事業会計は、地方公営企業法による事業報告書により、それぞれ説明させていただきます。

以上をもって提出いたしました案件の説明を終わります。

詳細につきましては、質疑あるいは委員会において説明いたしたいと存じます。

何とぞ、よろしく御審議のうえ適切なる御決議を賜りますようお願い申し上げます。

議長（稲村幸雄君） これにて提案理由の説明を終わります。

質 疑 ・ 質 問

議長（稲村幸雄君） 日程第4、これより組合長提出案件に対する質疑並びに広域行政一般に対する質問を行います。

質疑、質問に入りますが、通告がなされておりません。よって議会運営委員会の決定に従い質疑、質問がないものと認め、質疑、質問を終結いたします。

委 員 会 付 託

議長（稲村幸雄君） 日程第5、ただ今議題となっております、予算案件及び財産の取得案件並びに専決処分の報告承認案件の3件につきましては、お手元に配付してあります議案付託表のとおり、総務厚生常任委員会に付託いたします。

よって、休憩中に委員会を開催し、付託された案件の審査をお願いいたします。

決算特別委員会委員の設置と委員の選任

議長（稲村幸雄君） 日程第6、次に、決算認定の案件を付託するため、決算特別委員会の設置と委員の選任についてお諮りいたします。

組合長提出認定第1号から第3号までは、委員6人で構成する決算特別委員会を設置し、これに付託の上、閉会中の継続審査とすることにいたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（稲村幸雄君） 御異議なしと認めます。したがって、決算特別委員会の設置と継続審査については、以上のとおり決定いたしました。

お諮りいたします。ただいま設置されました決算特別委員会の委員に、川口正雄君、中村孝

清君、北本俊一君、守田幸則君、山本辰榮君、櫻井俊一君以上6名の方々を指名いたしたいと
思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(稲村幸雄君) 御異議なしと認めます。よって、指名のとおり選任することに決定いた
しました。

それでは、認定案件の3件は、決算特別委員会に付託いたしますので、次期定例会までに審
査をお願いいたします。

休 憩

議長(稲村幸雄君) ここで、委員会開催のため、暫時休憩いたします。

午後2時27分 休憩

午後 4 時 4 9 分 再開

出席議員（ 1 2 名 ）

1 番 守 田 幸 則	5 番 北 本 俊 一	9 番 北 信 幸
2 番 中 村 重 幸	6 番 中 村 孝 清	10 番 浅 野 俊 二
3 番 櫻 井 俊 一	7 番 山 本 泰 夫	11 番 川 口 正 雄
4 番 久 木 拓 栄	8 番 山 本 辰 榮	12 番 稲 村 幸 雄

再 開

議長（稲村幸雄君） それでは、休憩前に引き続き、これより会議を開きます。

決算特別委員会組織結果報告

議長（稲村幸雄君） ここで、休憩中に開催されました決算特別委員会で、委員長に川口正雄君、副委員長に櫻井俊一君がそれぞれ互選されました。

以上、御報告いたします。

委員長報告

議長（稲村幸雄君） 日程を続けます。

日程第 7、これより組合長から提出されております議案第 1 7 号及び議案第 1 8 号並びに、報告第 4 号までを一括して議題といたします。

本件に対する総務厚生常任委員会の審査の経過と結果について委員長の報告を求めます。総務厚生常任委員会委員長、北本俊一君。

〔総務厚生常任委員会委員長北本俊一君 登壇〕

総務厚生常任委員会委員長（北本俊一君） 委員長報告

総務厚生常任委員会に付託されました案件につきまして、先ほど委員会を開催し、審査いたしましたので、その経過と結果について御報告を申し上げます。

当委員会に付託されました案件は、議案第 1 7 号及び議案第 1 8 号並びに、報告第 4 号の計 3 件であります。

以上の案件について、詳細にわたり慎重に審査いたしました結果、すべての案件についていずれも原案のとおり可決及び承認すべきものと決しました。よって、本会議におかれましても当委員会同様の御決議を賜りますようお願いを申し上げます、総務厚生常任委員会の報告といたします。

議長（稲村幸雄君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑

議長（稲村幸雄君） これより、委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（稲村幸雄君） 質疑がないものと認め、質疑を終結いたします。

討 論

議長（稲村幸雄君） これより、討論に入ります。

討論通告がありませんので、討論を終結いたします。

採 決

議長（稲村幸雄君） これより、採決に入ります。

それでは、ただ今議題となっております組合長提出の議案第17号及び議案第18号並びに、報告第4号の3件の案件について、一括して採決いたします。

本件に対する委員長の報告は、いずれも原案のとおり可決及び承認であります。

お諮りいたします。本件は、委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（稲村幸雄君） 異議なしと認めます。よって、本件は、委員長の報告のとおり可決及び承認することに決定いたしました。

総務厚生常任委員会及び議会運営委員会所管事務の閉会中継続調査

議長（稲村幸雄君） 次に、日程第8、総務厚生常任委員会委員長並びに議会運営委員会委員長から、お手元に配付してありますとおり所管事項の調査について、閉会中の継続調査の申し出がありましたので、議題といたします。

お諮りいたします。本件は、委員長の申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（稲村幸雄君） 御異議なしと認めます。よって、本件は委員長の申し出のとおり決定いたしました。

閉 議 ・ 閉 会

議長（稲村幸雄君） 以上をもって本日の会議の議事日程はすべて終了いたしました。

よって、本日の会議を閉じ、平成19年第4回羽咋郡市広域圏事務組合議会定例会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

午後4時54分 閉会

会期日程表

平成19年第4回羽咋郡市広域圏事務組合議会定例会会期日程表

(会期1日)

月 日	曜日	本会議 委員会の別	開議時刻	議 事	備 考
8月23日	(木)	委 員 会	(午後1時30分	議会運営委員会)	正副議長室
		本 会 議	午後2時	開会 会期の決定 会議録署名議員の指名 議案上程、説明、質疑 一般質問、委員会付託 決算特別委員会の設置、同委員 会委員の選任、同委員会付託	
		委 員 会	(本会議休憩時：総務厚生常任委員会)		401会議室
			(常任委員会終了後：決算特別委員会)		401会議室
			(決算特別委員会終了後：議会運営委員会)		正副議長室
		本 会 議	委 員 会 終 了 後	委員長報告 質疑、討論、採決 継続調査の申し出 閉会	

質疑質問通告締切 平成19年8月21日(火) 正午

討論通告の締切 平成19年8月23日(木) 総務厚生常任委員会終了時

議事日程表

議 事 日 程 表

平成19年8月23日(木) 午後2時開議

(議会運営委員会を議会開会前に開催)

(本会議開会)

日程第1 会期の決定

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第3 組合長提出議案第17号、議案18号及び報告4号並びに認定第1号から認定第3号までの上程、説明

日程第4 組合長提出議案第17号、議案第18号及び報告4号並びに認定第1号から認定第3号までについての質疑、広域行政一般についての質問

日程第5 組合長提出議案第17号、議案第18号、報告4号までについての委員会付託

日程第6 決算特別委員会の設置、同委員会委員の選任及び組合長提出認定第1号から認定第3号までについての決算特別委員会付託

(休憩)

(付託案件審査のため、総務厚生常任委員会、決算特別委員会を順次開催、決算特別委員会終了後、議会運営委員会を開催)

(本会議再開)

日程第7 組合長提出議案第17号、議案第18号、報告4号までについての委員長報告、質疑、討論、採決

日程第8 総務厚生常任委員会及び議会運営委員会所管事務の閉会中の継続調査の申し出
(本会議閉会)

諸般の報告

監査委員の検査結果報告について

平成19年7月末までに実施された一般会計、ふるさと振興事業特別会計及び公立羽咋病院事業会計の例月出納検査18件については、出納関係諸帳簿と照合した結果、予算の執行状況及び現金の保管については、適正に執行されている旨の報告を受けた。

説明のため出席した者の職氏名

組 合 長	橋 中 義 憲	副 組 合 長	細 川 義 雄
副 組 合 長	中 野 茂 一	参 画 者	本 吉 一 寛
事 務 局 長	林 由 喜 雄	事 務 局 次 長 兼 総 務 課 長	北 出 芳 憲
会 計 管 理 者 兼 出 納 室 長	山 本 実	企 画 調 整 課 長	玉 井 敏 信
環 境 保 全 課 長	山 田 久 延	環 境 保 全 課 参 事	泉 敏 克
消 防 長	高 田 昌 信	消 防 本 部 次 長 兼 予 防 課 長	村 上 行 雄
消 防 本 部 庶 務 課 長	播 磨 外 喜 夫	消 防 本 部 警 防 課 長	干 場 茂 臣
羽 咋 消 防 署 長	松 生 政 充	宝 達 志 水 消 防 署 長	田 頭 善 彦
志 賀 消 防 署 長	福 田 和 人	病 院 事 務 長 兼 庶 務 課 長	松 中 左 千 夫
病 院 医 事 課 長	柏 谷 秀 治	羽 咋 市 総 務 課 長	嶋 田 一 明
宝 達 志 水 町 総 務 課 長	北 山 茂 夫	志 賀 町 総 務 課 長	藤 澤 仁

会議に付した事件

組合長提出議案第17号	平成19年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算(第2号)
組合長提出議案第18号	財産の取得について(高規格救急自動車購入)
組合長提出議報告4号	平成19年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算(第1号)の専決処分の報告について
組合長提出認定第1号	平成18年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計歳入歳出決算認定について
組合長提出認定第2号	平成18年度ふるさと振興事業特別会計歳入歳出決算認定について
組合長提出認定第3号	平成18年度公立羽咋病院事業会計決算認定について

議案付託表

付託委員会	番号	付託議案
総務厚生常任委員会	1	議案第17号 平成19年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算(第2号) 第1条 歳入歳出予算の補正のうち 歳入 1款1項、4款1項、8款2項 歳出 5款1項
	2	議案第18号 財産の取得について(高規格救急自動車購入)
	3	報告第4号 平成19年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算(第1号)の専決処分の報告について
決算特別委員会	1	認定第1号 平成18年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計歳入歳出決算認定について
	2	認定第2号 平成18年度ふるさと振興事業特別会計歳入歳出決算認定について
	3	認定第3号 平成18年度公立羽咋病院事業会計決算認定について

委員会正副委員長当選結果報告

平成19年8月23日

羽咋郡市広域圏事務組合議会
議長 稲村幸雄 殿

決算特別委員会
委員長 川口正雄

正副委員長当選結果報告書

8月23日、本委員会で正副委員長の互選を行った結果、下記のとおり当選したので報告します。

記

委員長 川口正雄
副委員長 櫻井俊一

閉会中の継続調査申出書

平成19年8月23日

羽咋郡市広域圏事務組合議会
議長 稲村幸雄 殿

総務厚生常任委員会
委員長 北本俊一

閉会中の継続調査申出書

本委員会は、所管事務のうち次の事件について閉会中の継続調査を要するものと決定したので申し出ます。

記

- 事件 (1) 行政事務の改善に関すること
(2) 消防業務の充実にに関すること
(3) 環境衛生業務の充実にに関すること
(4) 医療業務の充実にに関すること

理由 調査未了のため

平成19年8月23日

羽咋郡市広域圏事務組合議会
議長 稲村幸雄 殿

議会運営委員会
委員長 中村孝清

閉会中の継続調査申出書

本委員会は、所管事務のうち次の事件について閉会中の継続調査を要するものと決定したので申し出ます。

記

- 事件 (1) 次期定例会の会期、日程等に関すること
(2) 議会の運営に関すること
(3) 議長の諮問に関すること

理由 調査未了のため

委員会審査結果

総務厚生常任委員会

番 号	付 託 議 案	結 果	理 由
議案第17号	平成19年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算(第2号) 第1条 歳入歳出予算の補正のうち 歳入 1款1項、4款1項、8款2項 歳出 5款1項	原案可決	妥当と認む
議案第18号	財産の取得について(高規格救急自動車購入)	原案可決	妥当と認む
報告第4号	平成19年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算(第1号)の専決処分の報告について	承認	妥当と認む

議決一覧表

議決番号	議案番号	件 名	議決年月日	結 果	備 考
	組合長提出 認定第1号	平成18年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計歳入歳出決算認定について	19.8.23	継続審査	
	組合長提出 認定第2号	平成18年度ふるさと振興事業特別会計歳入歳出決算認定について	19.8.23	継続審査	
	組合長提出 認定第3号	平成18年度公立羽咋病院事業会計決算認定について	19.8.23	継続審査	
議決第21号	組合長提出 議案第17号	平成19年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算(第2号)	19.8.23	原案可決	
議決第22号	組合長提出 議案第18号	財産の取得について(高規格救急自動車購入)	19.8.23	原案可決	
議決第23号	組合長提出 報告第4号	平成19年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算(第1号)の専決処分の報告について	19.8.23	承認	
		総務厚生常任委員会及び議会運営委員会所管事務の閉会中の継続調査申し出	19.8.23	決定	

議会選挙結果等一覧表

番 号	件 名	選挙当の 年 月 日	選 挙 の 方 法	当選人等	備考
	決算特別委員会委員の選任	19.8.23	議長指名	川口正雄 中村孝清 北本俊一 守田幸則 山本辰榮 櫻井俊一	

職務のため出席した事務職員

議会事務局長 松田 純

書記 松田 安弘（総務課総括主幹）

書記 古永 広文

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

羽咋郡市広域圏事務組合議会議長 稲 村 幸 雄

羽咋郡市広域圏事務組合議会議員 浅 野 俊 二

羽咋郡市広域圏事務組合議会議員 川 口 正 雄

羽咋郡市広域圏事務組合議会議員 守 田 幸 則